株式会社DND ― DX/AXパートナー　図解資料

経済産業省BtoB-EC調査、2025年のEC化率45.9%。仕入先への発注業務がまだ電話・FAXなら整えたい発注管理の3ステップ

見積書・納品書の手入力をなくす

1. 何が起きたか

経済産業省は2026年10月21日、「令和7年度電子商取引に関する市場調査」の結果を公表しました。

指標	2025年（令和7年）	前年比
BtoB-EC市場規模	560.1兆円	+8.9%
BtoB-EC化率	45.9%	+2.8ポイント

大手企業がEDIやWeb受発注を推進する中、中小企業の仕入先への発注業務（電話・FAX・口頭）はデジタル化が遅れています。

2. 発注業務が整っていないと起きる問題

- 発注記録がない・曖昧 → 「発注したはずが届かない」が発生
- 在庫と連動していない → 過剰発注・欠品の繰り返し
- 承認フローがない → 不要な発注・高単価での発注が抑えられない
- 見積書・納品書の手入力 → 件数増加とともに工数が増え続ける
- 発注書と請求書の突合が困難 → 支払処理が遅れる

3. 発注管理デジタル化の3ステップ

ステップ1：発注フローの「見える化」

仕入先リストと品目・単価・リードタイムを一覧化。「何を仕入れているか」「誰が対応しているか」を整理し、属人化を解消する基盤を作ります。

ステップ2：発注書の電子化と承認ワークフロー

- 発注書の電子化（Excel統一→PDF自動生成 または 業務システム）
- 金額に応じた承認ルート設定（承認記録がシステムに残る）
- 発注ステータス管理（発注済み・納期確認済み・入荷完了）

ステップ3：見積書・納品書のAI-OCR自動読み取り＋システム連携

AI-OCRで仕入先から届く書類（見積書・納品書）を自動読み取り、品名・数量・単価を抽出して在庫・会計システムに自動登録。フォーマットが異なる仕入先にも対応できます。

4. 自社確認チェックリスト（3つ以上で要検討）

√	確認項目
☐	仕入先への発注を電話・口頭・FAXで行っている
☐	発注の承認を口頭またはメールで行っており、記録が残りにくい
☐	仕入先から届く見積書や納品書を、担当者が手入力している
☐	月末の請求書到着時に、発注書との照合に時間がかかる
☐	担当者が休んだとき、どこに何を発注するかわかる人が限られている

発注フローのデジタル化についてご相談ください

「何から始めればよいか分からない」という段階からお受けしています。

株式会社DnD　https://dnd-inc.jp/contact.html

出典：経済産業省「令和7年度電子商取引に関する市場調査」（2026年10月21日公表）
https://www.meti.go.jp/press/2026/10/20261021001.html